



# 公的職業訓練効果検証の報告について

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ 改善促進策について

令和6年11月14日

神奈川県労働局職業安定部訓練課



# 1. 公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて

## 目 的

適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図る。

## 構成員

①神奈川労働局 ②神奈川県産業労働局労働部産業人材課 ③横浜市中心職業訓練校  
④独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川支部

## 検証手法

令和6年度はデジタル分野の訓練コースの対象へのヒアリングを行い、その結果から訓練効果等を検証し、改善促進策（案）を作成する。

## 具体的な 進め方

- ① 神奈川県、横浜市、機構で実施したデジタル分野のコースから各1コースを選定。  
対象の3者（職業訓練実施機関、職業訓練修了者、職業訓練修了者採用企業）にヒアリング。
- ② ヒアリングの結果を踏まえ、デジタル分野全体について「訓練効果が期待できる内容」、「訓練効果を上げるために改善すべき内容」を整理し、改善促進策（案）を作成。
- ③ 第1回地域協議会に改善促進策（案）等検証結果を報告し、令和7年度地域職業訓練計画の策定に反映。

## ヒアリング 対象分野の 選定理由

デジタル分野の職業訓練は、公共職業訓練、求職者支援訓練ともに応募倍率が高く、求職者ニーズは高い。また、DX化の推進等に伴い、デジタル人材の育成が求められており、訓練コースの割合も増やしている。

一方、就職率が低い傾向にあるため、その理由を探り、改善していく必要があることから、令和6年度はデジタル分野を対象とした。

## 2. ヒアリング実施状況について

ヒアリング実施時期

令和6年6月～9月

ヒアリング実施者

神奈川県地域職業能力開発促進協議会ワーキンググループ

ヒアリング先

- ① 職業訓練実施機関 3機関
- ② 職業訓練修了者 3名
- ③ 職業訓練修了者採用企業 3社

	A	B	C
訓練内容	プログラミング	Webデザイン・制作	Webデザイン・制作
訓練期間	24ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
訓練修了者 (年代、前職)	40代 生活関連サービス	20代 生活関連サービス	20代 生活関連サービス
受講のきっかけ	もともとIoTの業務に就きたい希望があった	ハローワークでWeb関連職種の情報を得た	職種転換検討中にハローワークからもらった助言
採用職種	アプリケーション開発	Webディレクター	Webデザイナー

## 3. ヒアリング実施結果（訓練実施機関に対するヒアリング）

### 訓練実施にあたって工夫している点

- ・ 企業によって使用しているソフトや求める知識・技術が異なるので、「広く浅く」知識を身につけることができるようにカリキュラムを組んでいる。
- ・ 短期間の職業訓練では多くのスキルを極めることはできないので、企業の声などを参考に、汎用性の高いスキルに絞り、それを極めることができるようなカリキュラムを実施している。
- ・ 未経験者がWebデザイナーとしての正社員就職を目指す場合、短期間の訓練カリキュラムを全て理解し、それに加えて自主学習を目一杯行うなどの努力が必要となる。そのため、Webを取り扱う関連職種への就職やアシスタントとしての就職も想定して、ExcelやPowerPoint、マーケティングの授業もカリキュラムに取り入れている。
- ・ クライアントとの交渉を想定し、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めるため、自身が作ったWebサイトをどういう意図で作ったのかを自分の言葉で説明するグループワークを取り入れている。

### キャリアコンサルティングの状況

- ・ 訓練が始まってから適性を判断する受講生が多く、結果として、授業についていける人とついていけない人が真っ二つに分かれる傾向にある。そこをキャリアコンサルティングで対処しており、就職を断念させるのではなく、前職と訓練内容をかけ合わせた就職先を見い出せるような支援を行っている。

### 労働局・ハローワークへの要望

- ・ 訓練内容をわからずに申し込みをしてくる人や、デジタル関係職種は在宅で自由な時間に仕事ができるという認識で申し込みをしてくる人が多い。訓練実施機関は事前説明会などでこの点をもっと詳細に説明する必要があるが、ハローワークでも訓練内容やデジタル関係職種の仕事内容や勤務形態についてしっかりと説明してほしい。

## 4. ヒアリング実施結果（訓練修了者に対するヒアリング）

### 就職後、役に立ったカリキュラム等

- ・ HTML、CSS、Illustrator、Photoshopなど、まんべんなく学ぶことができてよかった。
- ・ 就職してからも基礎的な知識を頻繁に使うため、ITの基礎、コンピュータ・リテラシーを学べたのはよかった。
- ・ 面接練習やプレゼンテーションは就職活動をスムーズに進めていくのにとっても役立った。
- ・ IT関係の実際の現場の状況について授業中に教えてくれたのは、今となってはととてもよかった。
- ・ キャリアコンサルティングでは、厳しい状況の中でも、いつもWebの業種に就くことを後押ししてくれたので心強かった。また、応募書類のチェックや就職支援も十分やってもらい、とてもありがたかった。

### 就職後に感じた、訓練で学んでおくべきだったスキル

- ・ 職業訓練では、1つの知識・技術をしっかり身につけると言うよりも、複数の知識・技術を広く浅く身につけておいた方が就職には有利に働くと思う。
- ・ ネットリテラシーやセキュリティの保護に関することについて、攻撃があった時の対処方法など、実践的な授業があるとよかった。
- ・ どうやって組み立ててサービスになっていくのかといった、全体の設計がわかる授業があるとよかった。

### その他の意見

- ・ 興味本位でこの道に進むと後で苦労する。本当にPCやWebなどが好きな人でないと就職してから苦労する。そういったこともハローワークで申し込み前に説明してもらったほうがいい。
- ・ カリキュラム上、自習の時間（自分で作る・作業する時間）が多かったが、先生から直接教わる講義・講習の時間をもっと欲しかった。

## 5. ヒアリング実施結果（訓練修了者採用企業に対するヒアリング）

### 訓練で得られたスキルで、採用後に役立っているもの

- ・最低限のツールが使えること。「コードでこれを書いたらこうなる」といった基礎的な知識。
- ・Java言語、SQL（簡単なselect文）、統合開発環境ツール（エクリプス）、WordPress、Illustrator、Webページ制作

### 訓練で習得しておくことが望ましいスキル

- ・コーディングなどの基本的な大枠の理解。最初からコーダーと共通の言語で話をするができるため。
- ・できるだけ資格を取得しておくこと。訓練校によってカリキュラムが違うので、資格を持っているとその訓練校でどのようなことをやってきたかわかりやすいし、顧客に信頼される。
- ・Excel（関数、検索、ショートカット等。大量のデータを取り扱うので。）、PowerPoint（プレゼンが多いので。）
- ・訓練では、より多くのを広く浅く学んでおいた方がいい。その方が入社後の習得スピードが圧倒的に速い。

### 訓練修了者に期待していること

- ・基本的に訓練修了生は社会人としての経験も持ち合わせているので、以下の能力を持っていることを期待している。
  - コミュニケーション能力
  - 顧客から要望を正確に聞き取って組み立てる力
  - トラブル対応力

### その他の意見

- ・職業訓練ではたくさんを短い時間で詰め込まれるので、もう少しゆとりある教育をしてもらえるとありがたい。（例えば、訓練期間を3ヶ月から6ヶ月に伸ばすなど。）
- ・採用にあたっては、ポートフォリオの出来が大きく影響するので、訓練実施機関はその点を重視した方がよい。
- ・AIの訓練の実施を検討した方がよいと思われる。しかし、現時点で具体的なAIの活用方法は決まっていない。

## 6-1. 改善促進策

### 1 カリキュラムの強化・見直しを検討

#### 基礎的知識を幅広く習得

- ・ 基礎的知識を幅広く習得できるようにする

#### 理由

- ・ どの会社への応募、どの会社での就職にも対応できるようにする

#### コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力

- ・ コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を向上させる

#### 理由

- ・ デジタル業界は顧客との交渉やチームで取り組む業務が多い
- ・ 企業側は訓練修了生に対し、新卒者にはない社会人としての経験を求めている

#### ネットリテラシー 情報セキュリティ

- ・ ネットリテラシーや情報セキュリティに関する知識及び実践的な対応力を習得できるようにする

#### 理由

- ・ 業務上、セキュリティインシデントが発生した際の迅速かつ適切な対応が求められる

#### ポートフォリオ

- ・ ポートフォリオ制作に重点を置く

#### 理由

- ・ 企業側は採用選考時に、ポートフォリオの完成度を重視している

## 6-2. 改善促進策

2

ハローワークにおける受講希望者のニーズと訓練内容のマッチングの強化

